

## 第5回稲毛区地域福祉計画策定委員会議事要旨

日時：平成17年11月5日（土）午前10時00～12時00分

場所：稲毛区役所 3階講堂

出席委員：25名中12名出席

事務局：稲毛区  
          保健福祉総務課  
          健康企画課  
          稲毛区福祉事務所

松本区長  
弓削田参事、西森主事  
海保主任主事、赤岩主事  
田村主事、石田事務員

（会議内容）

次第に従い、会議が進められた。

< 議題 >

（1）稲毛区地域福祉計画素案について

「稲毛区地域福祉計画（素案）」を提示し、事務局、資料（稲毛区地域福祉計画素案の主な変更点等について）を使用して説明を行った後、質疑応答に入った。

（質疑応答）

委員      ： これだけの資料なのだから、事前に資料を配布することができないのか。これだけの資料を当日に配布されても理解するのは困難である。

事務局   ： 申し訳ありませんでした。以後、気をつけます。

委員      ： 大変素晴らしい計画ができたと思う。

          計画書の28頁の主な担い手についてと58頁の推進協議会の委員構成については、掲載の順番を統一するのがいいのではないか。事務局で検討してもらいたい。

事務局   ： 推進協議会の部分については、市計画に掲載されている内容を貼り付けているだけであるので、順番などの整合性は現在とれていない。

          推進協議会の内容は、今後も検討して行くので、その中で整合をとれる部分についてはとっていきたい。

委員      ： 作業部会でも出た話であるが、作業部会が中心となってまとめる中で、地区フォーラム委員との連携がうまくとることができなかつたのが反省点であり、出席人数も減ってしまっ

ている理由となってしまった。今後進めていくにあたっては、気をつけていきたいと思う。

推進協議会については、市の策定委員会で活動内容については、区の独自性が出てもいいという話があった。連絡調整や情報交換だけでなく、稲毛区の特徴であるコーディネート組織を推進協議会に置くなど、活動に結びつくようなものにできないか。

事務局 : 活動内容については、区の独自性が出てもいいということで考えているが、推進協議会については、各区共通の事項として整理していきたい。特に広報についてやっていきたいと考えている。

委員 : 予算の範囲内であれば、いいということか。

事務局 : 予算というよりは、推進協議会については、各区共通の事項として記載したいということである。

委員 : 全部の区の計画書を読んだが、コーディネート組織のようなものが4区ぐらい出ていた。取組内容に掲載されていると言っても、やはり推進のところでは1行入ると違うのではないか。

事務局 : 推進協議会は、実際には計画を実行していくための作戦会議の場ではないかと考えている。稲毛区では35の取組が掲載されているが、コーディネート組織はその1つであり、コーディネート組織のために予算をつけるという形はないと考えている。

また、推進協議会は実行部隊ではない。実行部隊ということになると、ここの役割はすごい大変なものになってしまう。推進協議会は、作戦会議の場であり、地域の組織や個人のネットワークをつくる場と考えている。

推進協議会の内容は、まだ確定しているわけではないので、今後、各区の状況等を踏まえて検討し、詰めていきたい。

委員 : 事務局の言ったことを共通認識することが大事である。ただし、稲毛区の特徴を入れていきたいという思いはあるので、説明文の中に入れていたり、別項目として入れるなどしていきたい。

また、稲毛区の特徴がわかるように市計画や他区の特徴などがわかるようなものを配布してほしい。

事務局 : 持ち帰って、検討したい。他区の資料などは、作成次第送

付という形でお渡ししたい。

- 委員 : 今回の計画では、組織の代表が出てきていたが、各委員は、それぞれ持ち帰って報告などをしていたか。
- 委員 : 会合の際に報告をしている。
- 委員 : 老人クラブの集まりの際に話をしている。
- 委員 : 稲丘地区部会の中でも行っている。
- 委員 : 推進協議会の任期はどうか。委員のやる気も問題である。予算とも絡んでくるが、交通費くらいはでないのか。
- 事務局 : 任期については、今後検討していく。  
交通費については、今後も出す予定はない。
- 委員 : 地区フォーラムの委員との結びつきがうまくいなくて残念であった。作業部会に重きがあったので、言いたいことが言えない部分があったのではないか。会議にでても、わからなかった。
- 委員 : 推進協議会では、自治会の会長が委員となってくると計画が推進されていくのではないか。
- 委員 : 自分の活動がある中で、なかなか出席できず、申し訳なかったと思っている。
- 委員 : 学校は、毎回委員が変わるため、なかなか把握できていない。校長会でも議論としてはなかなかできなかった。  
いろんな問題で地域に力をお借りしているが、なかなか難しいと実感している。
- 委員 : この前の議論もでたが、推進協議会の「プラットフォーム」という言葉はどういう意味か。
- 事務局 : プラットホームというのは聞きなれない言葉である。拠点という意味を表していると思うが、言葉の使用も含めて再度持ち帰って検討したいと思う。

以上のような議論を行い、今日の検討内容を踏まえ、文言の修正は事務局で行うということで素案を決定した。

## (2) 今後のスケジュールについて

事務局より、資料(今後のスケジュールについて)を基に説明をした。

また、地区フォーラム委員全員に現在行っている地域での福祉活動に関する情報を募集する旨の説明をし、了承を得た。

以上